



みんな集まれ腕を組め! 4月22日、上野水上音楽堂を満席に!

スクラムコンサート News

2018/4/14 Vol. 5 スクラムコンサート 2018 実行委員会 新宿区大久保 2-16-36 ☎03-3200-4977

見えてきた 300 の峰、当日までに 500 以上の確約を!



みなさまのご奮闘をいただき、4月5日に第1号を発行した時点では確約130でしたが、わずか1週間ほどで今日現在の集約は283まで到達し、300が見えてきました。企画の具体化など、取り組みが遅れていましたが、すでに10000枚を超えるチラシが消費され、2000枚近いチケットを様々な団体に預かってもらっています。とはいえそこは集約がしきれず、不確定要素も多いので、やはり当日フタをあける前までに、500以上の確約を押さえないとこです。客席は1200ですので、広げて広げすぎるといいことはありません。

前号お伝えしたとおり、労働組合や民主団体などから期待の声も届いているスクラムコンサート、肝心のうたごえの仲間がここに大結集してこそ、うたごえ創立70周年祭典へ向け、大きな一歩を踏み出せるのではないのでしょうか。あと一週間、みなさんのご奮闘を改めて呼びかけます!

チケット確約到達 283枚!
名刺広告確約到達 19口!

「学習の友」4月号でもスクラムコンサートが紹介されています。

労働者の闘いを広げるための学習誌である「学習の友」4月号に、東京のうたごえ大熊事務局が記事を寄せ、「闘う労働者の歌声がもつ説得力」と題し、解雇三兄弟の闘いやメーデー歌集、そしてスクラムコンサートの事と、うたごえ70周年についても語っています。コンサートに誘う際に、話題の一つとしてご活用下さい。(「学習の友」は定価500円)



保育のうたごえ、歌い手目標 30 人見えた!

ニュース3号で「30人超のステージを目指す!」と決意をした保育のうたごえでは、先行して集約が進む東部地域から、元々保育のうたごえサークルだった品川コーラスたんぽぽに歌っての参加を訴え、7人が参加を決めました! 保育・教育合同で歌う「平和のおたより」は「知らないから歌えない…」という声に、「関東交流会(4/14・15)に参加する人もいるなら、そこで覚えて、一緒に歌いましょう!」と力強い呼びかけ!

「足立つくしんぽからも3人参加が増えて、保育のうたごえ30人が見えてきました!」と、足立つくしんぽの渡辺さん。三多摩の保育のうたごえサークルにも声をかけて、さらに一回り大きなステージを目指そうと、熱く燃えています!

オープニングは「旅のはじまり」歌うのは…?

スクラムコンサートの開幕を飾るのは「旅のはじまり(佐伯洋/作詞 豊田光雄/作曲)」、男声ソロと女声ソロを交えて演奏されます。男声ソロは絹の道合唱団で JMITU 村松フルート支部の組合員でもある平田要さん、女声ソロは合唱団 TOSEI の井口知子さんです。今回のオープニングステージにこだわりを持つ実行委員の外山靖雄さんは「歌い慣れた私たちベテラン・定年組じゃなくて、やっぱり現役世代に歌って欲しい!」と語り、実行委員会の中で人選を相談しました。いつもとひと味違うニューフェイスによる開幕演奏。いろいろな事に挑戦しているスクラムコンサート2018です。

行動がしっかり反応になって返ってくる!

郵便のうたごえの中澤さんは、郵政ユニオン本部に訴えに行き、名刺広告3口を! 統計オンチコーラスの柳さんは歌声の店ともしびで2人にチケットを普及! 「職場の現役にも声をかけてます」と積極的。JAL フェニックスは様々な集会や行動に参加する中で昨日は1枚、今日は2枚と着実に広げています。三多摩青年合唱団でも竹澤さんが力強く訴えて約10枚を普及。行動が必ず結果につながっています。

コンサートの成功を闘いの前進に! 全ての争議の早期解決へ歌で連帯を!